

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	現在は、敷地内での地域の交流が主であり、夏祭りや各施設行事に呼びかけし地域住民との交流も行なっていたが、日常的な外出での地域との交流や自治会活動への参加は行なっていなかった。	地域自治会への参加	今後は、地域ボランティアの訪問等を積極的に受け入れ、自治会にも職員が出席し交流を図る。	6ヶ月
2	33	特養を母体施設として、状況に応じサービス提供ができるように家族やかかりつけ医等と相談しながら、支援行なっていた。	家族来荘時に説明し、共有できるようにする。	グループホームの対応については、明文化していなかった為、グループホームの案内に記載するようにした。	6ヶ月
3	35	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できるように、年2回消防訓練や原発事故時、夜間想定訓練を法人内だけで行なっている。	地域や地元消防団との防災協定を結ぶ。	今後は、法人内だけでなく、地域住民や地元消防団との協力体制を構築していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。